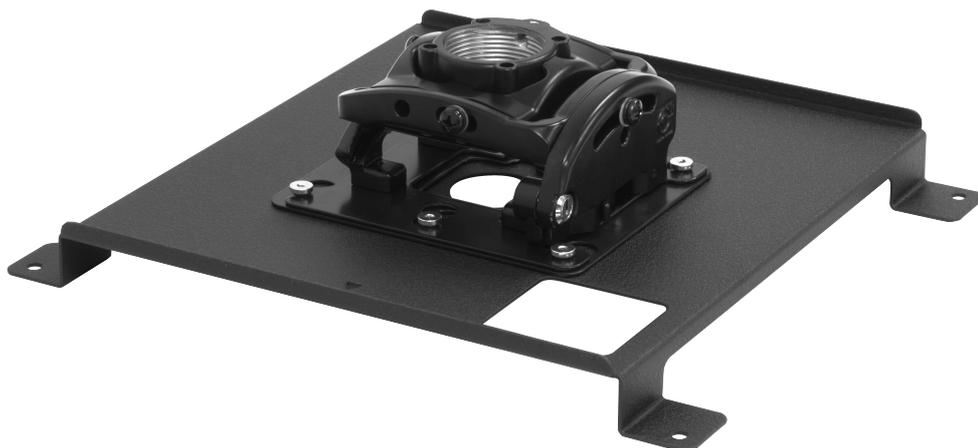


取扱説明書



天井吊下タイプ プロジェクター用マウント 型番 RPMA281J-A



RPMA281J-A

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取り付け場所の強度には、少なくともプロジェクターおよび金具の合計重量の5倍に耐えるよう十分注意の上、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。

製品保証規定

■ 保証内容

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、無償修理させていただきますので、弊社またはお買い上げの販売店にお申し出ください。

なお、輸送による場合は弊社までの送料のご負担をお願いいたします。

■ 無償保証範囲

製品が故障した場合、お客様はお買い上げの日より一年間において、弊社に対して無償修理を依頼することができます。

ただし下記の場合、弊社は無償修理を承れません。

- 1) 故障した商品をお送りいただけない場合。
- 2) 弊社が動作保証するとして指定した機器以外でご使用の場合。
- 3) お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
- 4) 火災・水害など天変地異などより故障した場合。
- 5) 輸送中の振動・落下により故障・破損した場合。
- 6) 弊社製品以外の製品に起因しての故障の場合。
- 7) 弊社以外で修理・調整・改造された場合。

■ 有効範囲

本製品保証規定では本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束いたします。

従ってこの製品保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社までご相談ください。

安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生可能性がある内容を示しています

-  警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
-  警告：取り付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やプロジェクターの落下につながり、非常に危険です。
-  警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
-  警告：プロジェクターの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にプロジェクターを固定しているようにご確認ください。またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
-  注意：運送による破損の可能性があるので、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設置の前に**■設置場所について**

- 本製品とプロジェクターを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、プロジェクターと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、構造物の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの天井面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

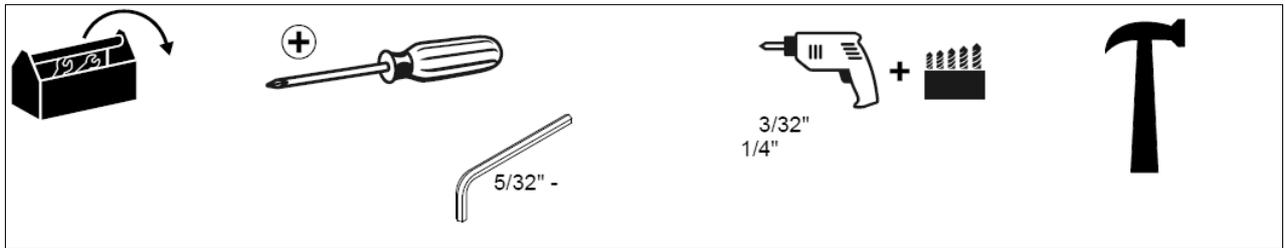
誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

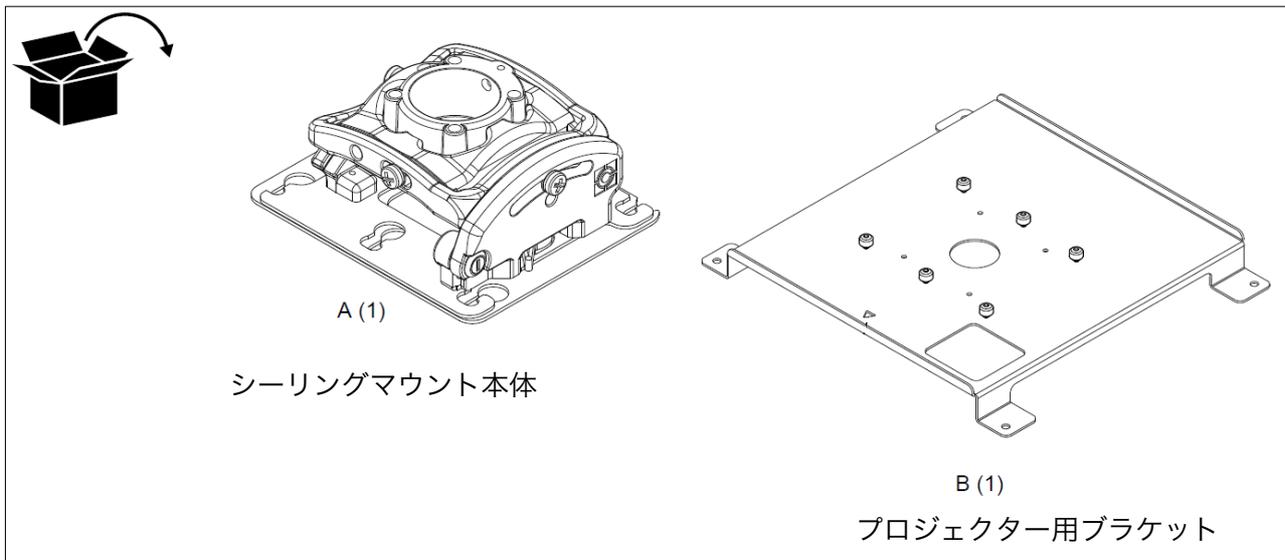
1. 各種の天井面に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、機器の天井面への適切な設置場所を決めてください。
3. 図に従って天井面への適切な下穴処理やアンカー固定を必要に応じて行ってください。
4. 天井面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
5. 本製品は天井面にしっかりと取付けてください。本製品の取付穴4ヶ所にしっかりとボルト固定してください。

組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■天井側 マウントベースの部品と封入物



■ブラケット側の部品と封入物

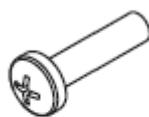
- | | | |
|---|---------------|------|
| A | シーリングマウント本体 | 1セット |
| B | プロジェクター用ブラケット | 1セット |
| C | サムナット | 6個 |
| D | セキュリティキット | 1個 |
| E | 5/32" L-レンチ | 1個 |
| F | M6-35mm ナベネジ | 4個 |
| G | スペーサー | 4個 |



【D】セキュリティ
キット (1個)



【E】L-レンチ (1本)



【F】M6-35mm
ネジ (4個)



【G】スペーサー
(4個)

■ プロジェクターマウントを取り付けるには

本取扱説明書では取り付け方法と調整の手順の説明をしています。

下記の概略内容をよくお読みになり、正しく取り付けてください。

■ 天井への取り付け方法

- チーフ社製専用シーリングプレートと、チーフ社製CMSシリーズ延長ポールを使用した取り付け方法

シーリングプレートを天井部分に固定するには、天井の素材や構造にあった方法で取り付けてください。

■ プロジェクターをプロジェクターマウントに取り付ける方法

- いずれかの方法でプロジェクターマウントが天井に固定されたのちに、プロジェクターをマウントに固定して、位置調整をおこないます。

(1) プロジェクターを付属のブラケットにM6ネジを用いて取り付けてください。プロジェクターにはブラケットとのスキマを調整するために、付属のスペーサーを使用して固定してください。

プロジェクターのレンズのある方向と、ブラケットの三角穴がある方向を合わせてください。三角穴があるほうが、レンズ側の方向になります。

(2) あらかじめ天井側に取り付けたプロジェクターマウントと(1)でブラケットを取り付けたプロジェクターをマウントしてください。

マウントした後は、プロジェクターマウント側にあるロックレバーで脱落しないようにロックしてください。

(3) プロジェクターから映像を出してスクリーン上の映像を見ながら位置調整をしてください。

■ プロジェクターのスクリーンに対する位置調整

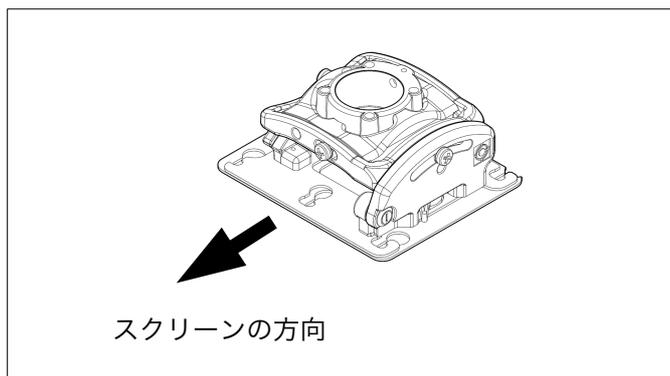
- 本製品では、プロジェクターの位置調整を3軸独立して調整することができます。

(1) プロジェクターの傾斜角度調整

(2) プロジェクターの水平位置調整

(3) プロジェクターの回転方向調整

■別売りの天井プレートとCMSポールにプロジェクターマウントを取り付ける

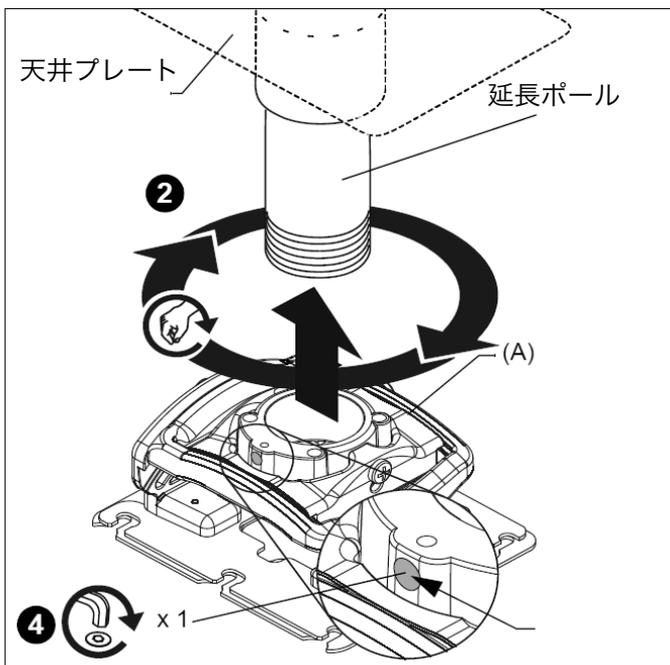


あらかじめ取り付けしたチーフ社製専用シーリングプレートと、チーフ社製CMSシリーズ延長ポールに、左図のようにプロジェクターマウントをねじ込んで取り付けてください。

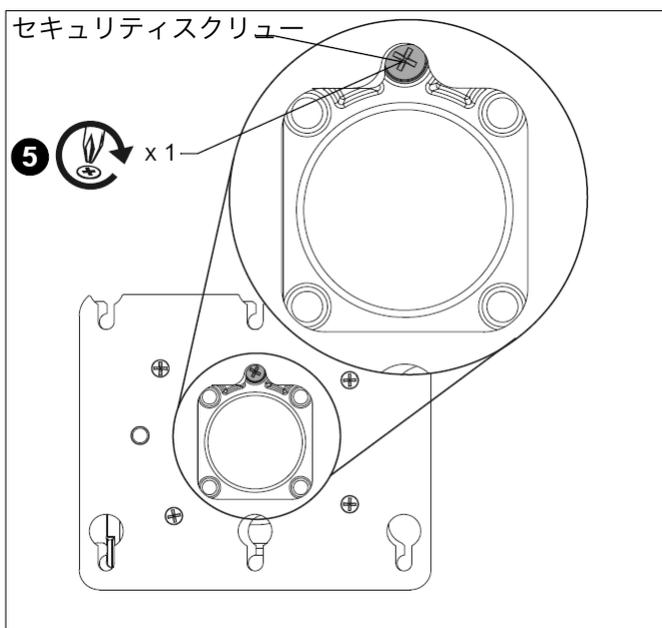
ポールの取り付け部分は「テーパタイプ」になっており、締め込むほどネジ山同士の密着度が上がる設計になっており、堅くなってきますので、プロジェクターマウントがスクリーン方向になる位置をよく確認しながら、手で締め込んでそれ以上回らない程度に締めてください。

締めこむ目安としては、10～13mm程度パイプが入り込むようにしていただき、塗装のないねじ山が隠れるまで締める必要はありません。

その後は④の付属レンチで内部のセットビスを締めますとポールが緩まないように固定されます。

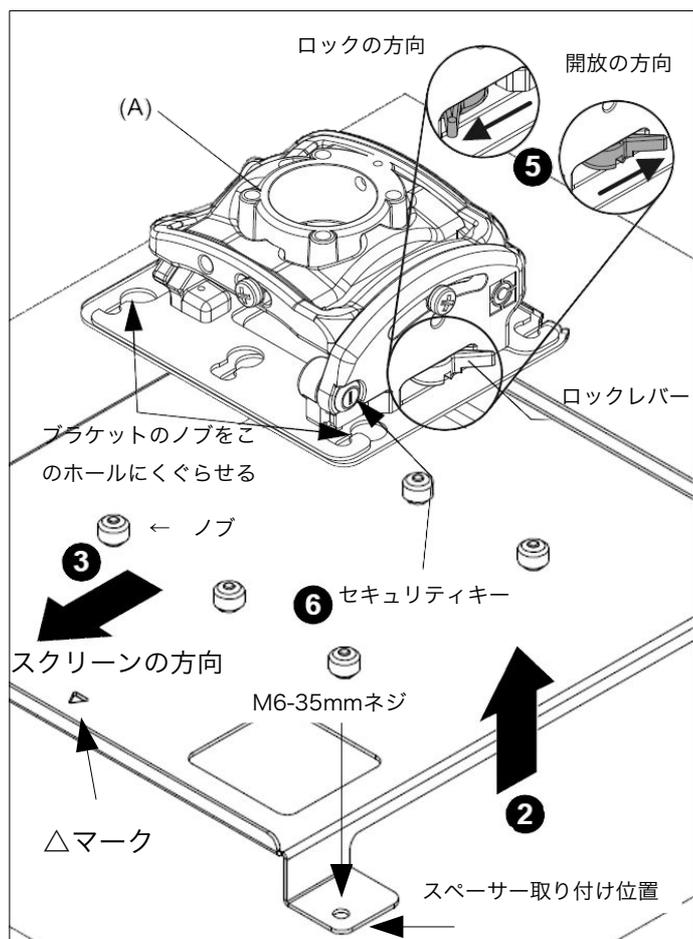


□ セキュリティスクリューの取り付け方法



次に、図のようにプロジェクターマウントの裏面にある位置に付属のセキュリティスクリューで固定すればセキュリティロックになります。

■プロジェクターをマウントに取り付ける



プロジェクターをブラケットに取り付ける際は、ブラケットの△マークがレンズ側を向くようにセットしてください。

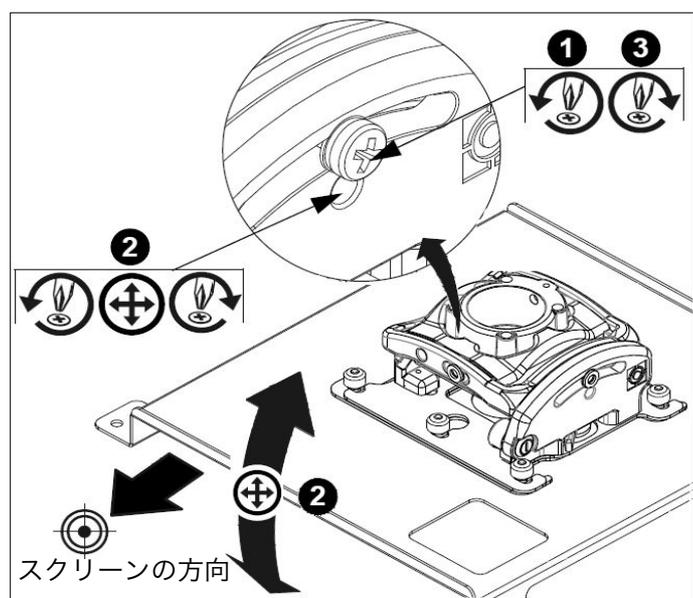
プロジェクターの取り付け面には段差がありますので、プロジェクターとブラケットを【F】ネジで固定する際に【G】スペーサーを取り付けてください。

次に、ブラケットの6個のマウントボタンがプロジェクターマウントの取り付けホールに入るようにあてがって、⑤のロックレバーが「開放の方向」に開いていることを確認してプロジェクターをセットしてください。

プロジェクターがセットできたらレバーを「ロックの方向」に倒れており、なおかつマウントボタンがマウント機構にはまっていることを確認してください。

確実に取り付けられたら、付属のセキュリティキーでキーロックします。キーロックしましたらロックレバーは解除することができなくなりますので不用意な操作で脱落する危険性が回避できます。

■プロジェクターの傾斜角度調整



プロジェクターとスクリーンの調整について

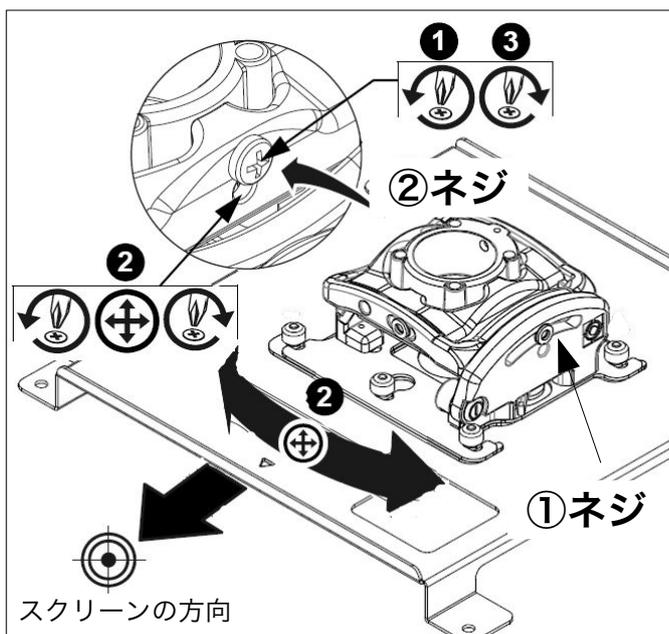
左図では、プロジェクターの傾斜角度調整をすることができます。

まず、①のプラスネジを少し緩めて、プラスネジの下にある穴に#2サイズのプラスドライバーを差し入れて回転させると、ドライバーが内部のギアに噛んでプロジェクターの傾斜角度を調整することができますので、最適な位置に調整してください。

※プラスネジは完全に緩めるのではなく、少し摩擦を感じる程度に緩めてあげれば良いです。

調整が終了したら、プラスネジはしっかり締めておいてください。

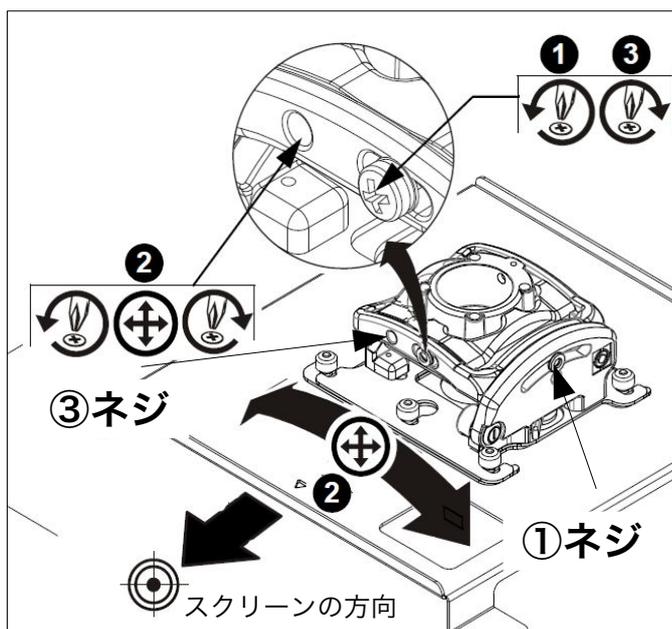
■プロジェクターの水平位置調整



次に、①の傾斜角度調整と反対側のプラスネジ②を緩めて、穴にドライバーを差し入れて回すと、スクリーンに写る画像を水平方向に左右に動かすことができます。

スクリーンの中央に画像が出るように調整してから、プラスネジを締めてください。

■プロジェクターの回転方向調整



さらに、プロジェクターのレンズ側の方向にあるプラスネジ③を緩めてプラスネジの左側にある穴にドライバーを差し入れて回すと、スクリーンに映る画像が回転方向に傾斜しますので、画像が傾かないまっすぐになる方向に調整してから、プラスネジを締めこんでください。

輸入販売元

<http://www.avc.co.jp/>

AVC 株式会社
映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

■システム販売事業部

<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー 8階
<関西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25

TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144